

各機関の取組事例

- ・黒部河川事務所 P 1～P12
- ・富山県 河川課 P 13～P15
- ・富山県 砂防課 P 16
- ・新川農林振興センター P 17
- ・富山森林管理署 P 18
- ・富山地方气象台 P 19
- ・黒部市 P 20 ～P21
- ・入善町 P 22 ～P23
- ・朝日町 P 24

(様式:取組事例)

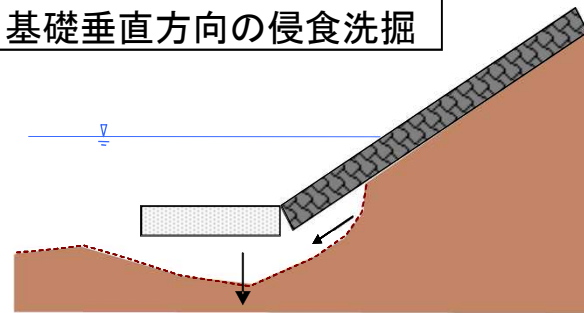
区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	急流河川対策(縦工整備)		
事業・施策の名称	黒部川河川改修事業		
実施場所	黒部川		

【対策概要】

急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対し、河岸の洗掘・浸食に対する安全度が低い箇所において侵食対策を実施し、治水安全度の向上を図ります。

急流河川の被災メカニズム

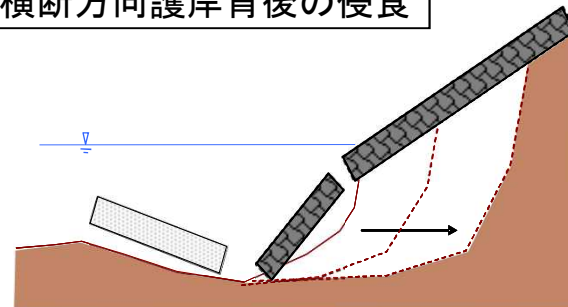
基礎垂直方向の侵食洗掘



洗掘の進行



横断方向護岸背後の侵食

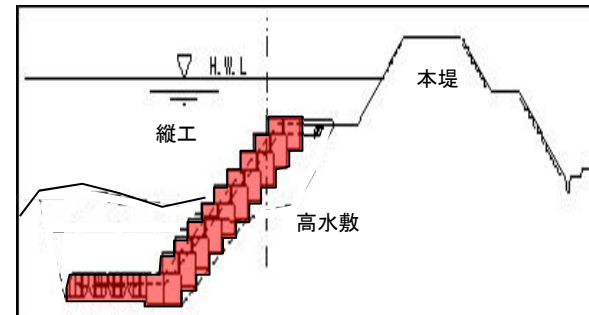


侵食の拡大 → 決壊



急流河川対策

急流河川特有の洪水のエネルギーに対し堤防の安全性を確保する



縦工横断イメージ図



急流河川対策(縦工)

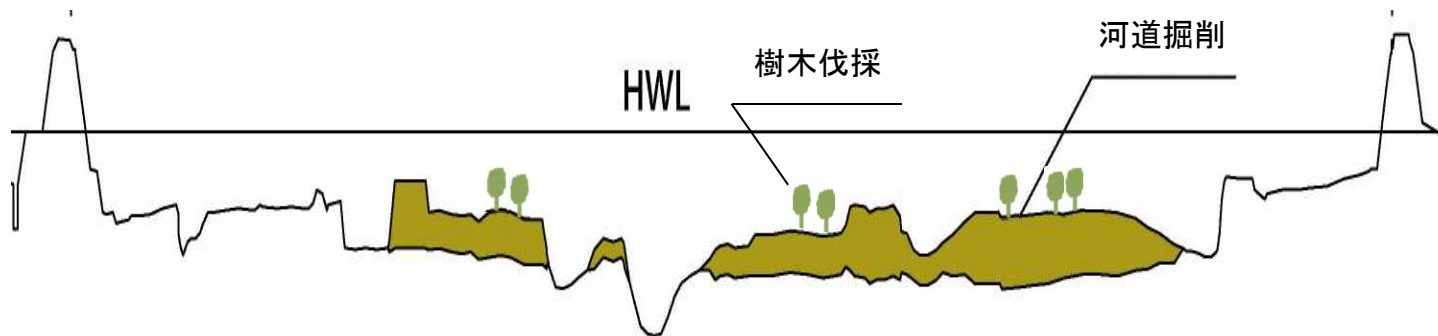
(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	樹木伐採・河道掘削		
事業・施策の名称	黒部川河川改修事業		
実施場所	黒部川		

【対策概要】

河道の目標流量5,200m³/s(戦後最大洪水の昭和44年8月洪水と同規模が発生した場合の流量)を流下できるよう、河道断面積を拡大するために樹木伐採及び河道掘削を実施します。

樹木伐採・河道掘削イメージ

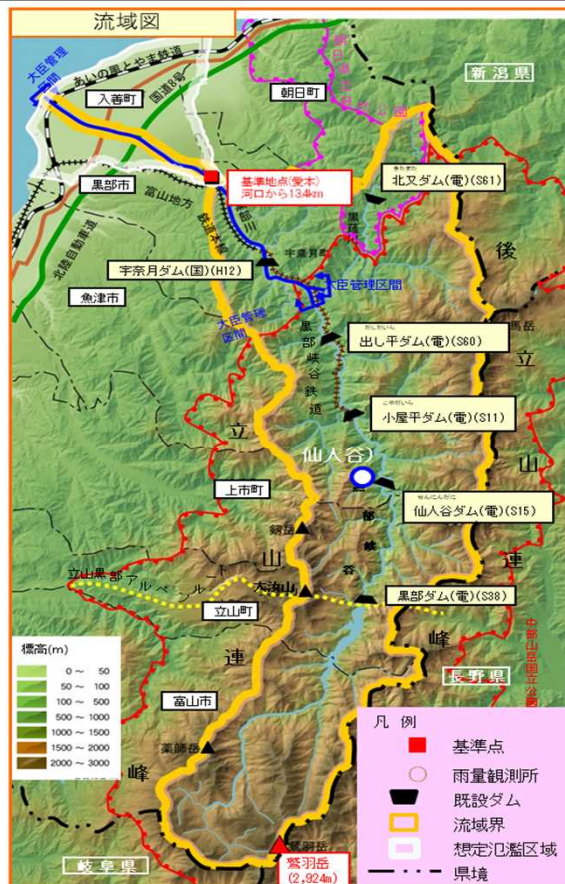


(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	既存ダム6ダムによる事前放流等の実施・体制構築		
事業・施策の名称	治水協定の締結(令和2年5月)		
実施場所	黒部川		

【対策概要】

黒部川では、上流域の予測降雨量が390mmが上回ることが想定された場合に、宇奈月ダムのほか、5つの利水ダムで事前放流を行い容量を確保し、洪水調節機能の強化を図る。



黒部川水系の治水協定ダム一覧

ダム名	管理者	基準降雨量	台風等の3日前から低下させて確保できる容量(千m3)
宇奈月ダム	多目的ダム 国土交通省	390mm以上	4,134
北又ダム	利水ダム 北陸電力		296
出し平ダム	利水ダム 関西電力		2,577
小屋平ダム	利水ダム 関西電力		110
仙人谷ダム	利水ダム 関西電力		43
黒部ダム	利水ダム 関西電力		71,979

※実運用については事前放流実施要領による

協定ダムの諸元



宇奈月ダム(H12完成)
国土交通省管理ダム



出し平ダム(S60完成)
関西電力(株)の発電専用ダム



黒部ダム(S38完成)
関西電力(株)の発電専用ダム



小屋平ダム(S11完成)
関西電力(株)の発電専用ダム



仙人谷ダム(S15完成)
関西電力(株)の発電専用ダム

(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	砂防関係施設の整備(黒部川水系)		
事業・施策の名称	黒部川水系直轄砂防事業		
実施場所	黒部川上流域		

【対策概要】

流出土砂に対する砂防関係施設を整備し、黒部川流域における安全度の向上を図り、観光施設、発電施設、鉄道施設への被害軽減を目指す。

● 黒薙川流域

① 黒薙川第2号下流砂防堰堤



● 小黒部谷流域

② 小黒部谷第2号砂防堰堤



● 祖母谷流域

③ 祖母谷砂防堰堤群改築

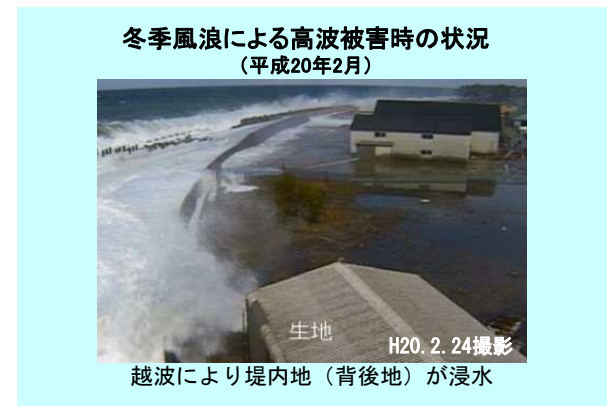


(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	海岸保全施設の整備・養浜		
事業・施策の名称	下新川海岸直轄保全施設整備事業		
実施場所	下新川海岸		

【対策概要】

離岸堤、副離岸堤等の海岸保全施設、さらには黒部川からの土砂供給や養浜の組み合わせ等により、将来にわたって進行する侵食を防止するとともに、高波に対して背後地への越波被害を防ぐ。



副離岸堤施工状況(本体ブロック据付)

(様式:取組事例)

区 分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	霞堤の保全		
事業・施策の名称	霞堤の機能維持(減災への取組)		
実施場所	黒部川		

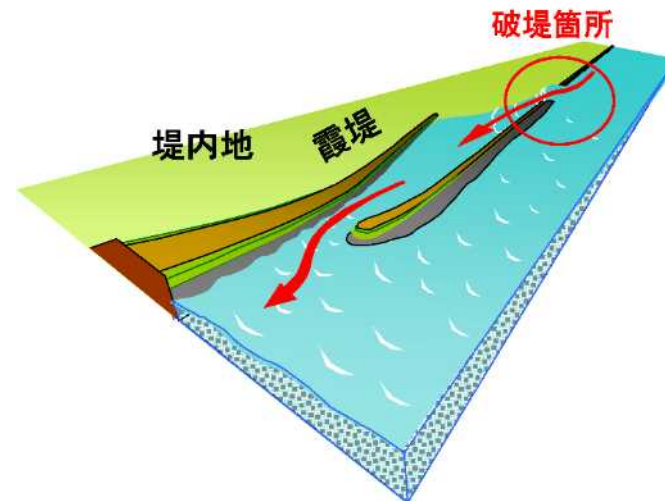
【対策概要】

現存する霞堤について、上流で氾濫した水を開口部から速やかに川へ戻し、被害の拡大を防ぐ等の治水上の機能があるため、適切な維持、保全を図ります。

また、霞堤の機能維持を考慮した開口部周辺の土地利用等についても関係事業者や関係機関とも連絡、調整し、霞堤を活かした水害に強い沿川地域づくりを目指します。



黒部川における霞堤



【霞堤の効果】

上流で氾濫した水を開口部から川へ戻し、被害の拡大を防止

(様式: 取組事例)

区 分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	災害情報普及支援		
事業・施策の名称	浸水想定区域図、浸水エリア情報等に対する支援		
実施場所・対象者	黒部河川事務所管内		

【対策概要】

平成17年に洪水ハザードマップの普及支援のために河川関係事務所に設置した「災害情報普及支援室」を自衛水防の窓口として、事業者等の自衛水防の取組を積極的に支援します。

1. 取組内容

- ・ 河川等のハザードマップの作成、洪水予報等の情報伝達に関する市町村への技術支援
- ・ 避難確保計画又は浸水防止計画の作成を行う施設の所有者又は管理者への技術支援
- ・ 黒部川災害情報協議会の運営（平成17年6月設置）
- ・ その他、災害情報を普及するために必要な支援

2. よくある問い合わせ内容

- ・ 自治体や事業所等の所有者又は管理者より、浸水想定図の考え方や見方について
- ・ 氾濫範囲や浸水深について 等

3. 自衛水防に役立つ情報WEBサイト

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/index.html>



(様式: 取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	マイ・タイムラインの作成及び普及		
事業・施策の名称	マイ・タイムラインの普及		
実施場所・対象者	黒部河川事務所管内		

【対策概要】

集中豪雨等の発生開始後、河川の水位が上昇してから、ご自身がとる防災行動を時系列で整理し、取りまとめる「マイ・タイムライン」を多くの県民に知ってもらうことを目的とした、『みんなでタイムラインプロジェクト・とやま』の取り組みを、令和2年4月より国土交通省富山河川国道事務所、黒部河川事務所、北陸技術事務所の3事務所合同で取り組んでいます。



逃げキッド(マイタイムライン検討ツール)



みんなでタイムラインプロジェクト とやま

(様式: 取組事例)

区 分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	水防災教育(出前講座の活用)		
事業・施策の名称	出前講座等の活用		
実施場所・対象者	管内の小学校		

【対策概要】

自然災害から命を守るためには、一人一人が災害時において適切な避難行動をとる能力を養う必要があることから、学校における防災教育の充実を図り、特に「命を守る」という観点に留意し、子供たちに正確な理解を進める。(実施日: R3.10.28 黒東小学校)

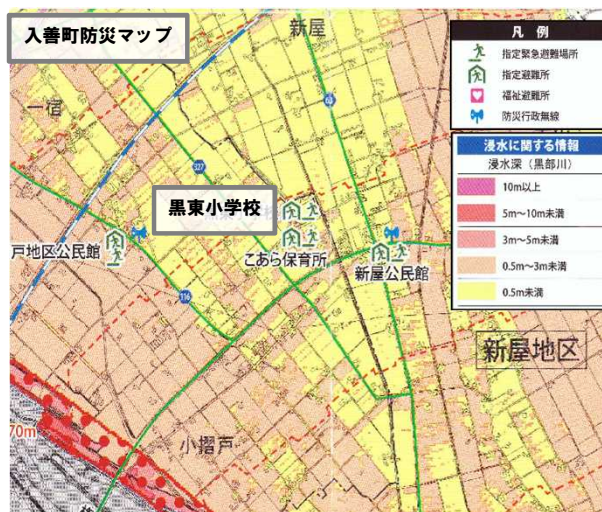


座学

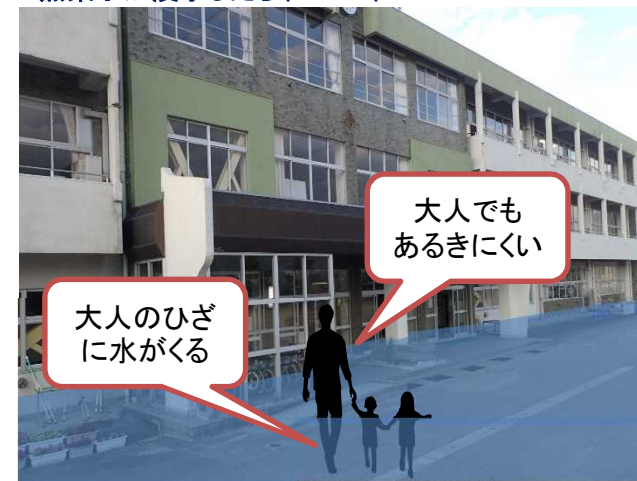
生徒が自ら調べ、生徒同士で教え合うことも期待し、説明時には伝えすぎない内容とすること、質問時間を確保し生徒自ら考えてもらうよう促すなど、先生と意見交換のうえ防災教育内容を決定。



質問タイム



黒東小が浸水したら(50cm)



説明する様子(黒部河川事務所職員)

作成したスライドの例

(様式: 取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	水位計・監視カメラの活用		
実施場所・対象者	黒部河川事務所管内		

【対策概要】

黒部河川事務所ホームページにおいて、住民等への防災情報の提供として河川水位・洪水予報・ライブ映像等を提供しています。



ライブカメラによる情報提供

今日の愛本

愛本基準観測所 (1時間毎)

水位 10時 124.25m (速報値)
 流量 10時 5.90m³/s (速報値)

基準観測所流量(単位:m³/s)

	愛本下流	愛本上流
はん濫危険流量	3,800	2,500
避難判断流量	3,100	1,600
はん濫注意流量	700	700
水防団待機流量	550	550

基準観測所流量の解説
 川の防災情報(水位情報)
 はここから

観測所情報

愛本 黒部川水系 黒部川

最新観測値 2022/12/06 11:00

河川横断面 水位グラフ 河川カメラ 詳細情報

水位 124.25m

(EL=248.05m)
 水位標のゼロ点高(EL=123.8m)

全体 拡大 時間毎 10分毎 凡例

上流観測所

水位	124.25m↑
190.65m→	

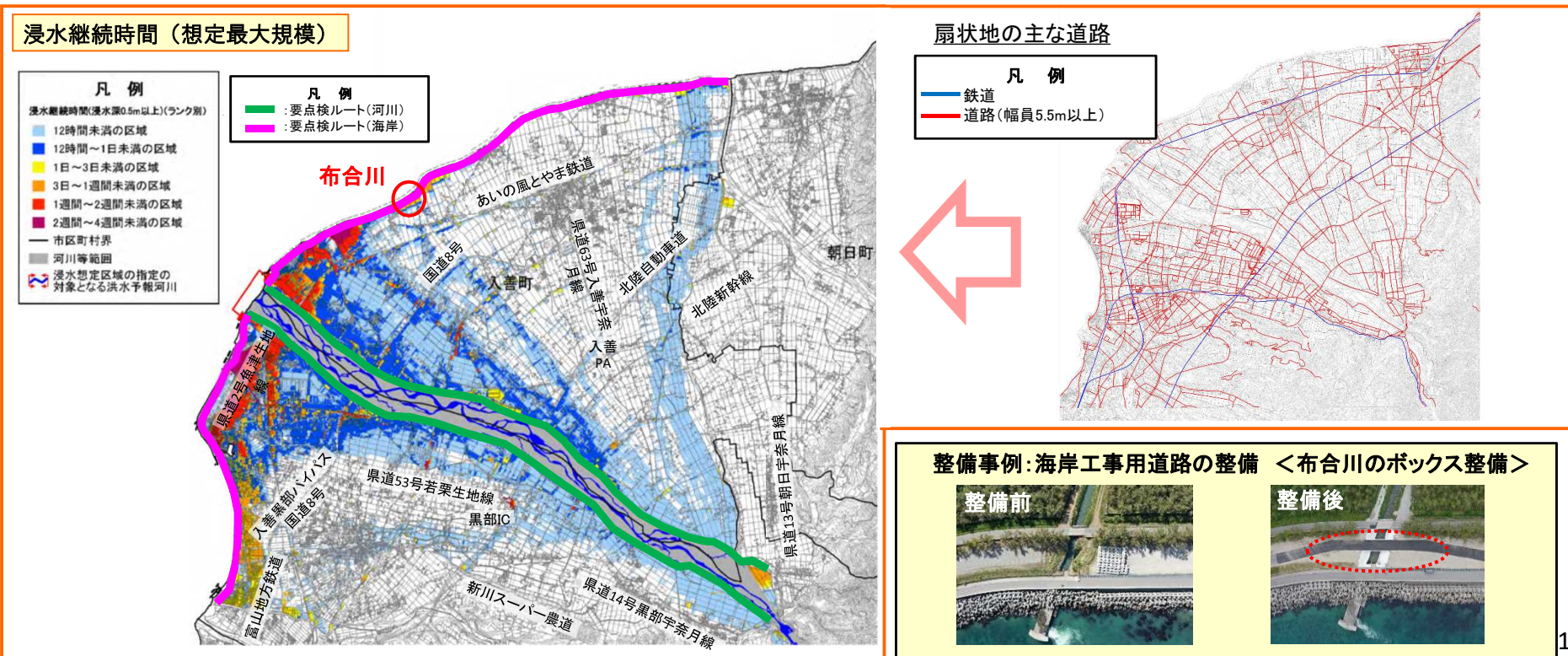
水位情報等の情報提供

(様式: 取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	緊急輸送ルート確保(河川管理・海岸工事用道路の整備・活用)		
事業・施策の名称	黒部川河川改修事業、下新川海岸直轄保全施設整備事業		
実施場所・対象者	下新川海岸		

【対策概要】

黒部川の土砂・洪水氾濫により氾濫域内の道路が一部使用不能となり、早期復旧・復興に必要な資機材の運搬が困難となる場合が想定される。このため、緊急輸送ルートの確保の観点から、周囲に比べて標高の高い黒部川・下新川海岸の河川管理・海岸工事用通路の整備(狭隘・未舗装箇所)の点検・整備)や活用を図る。



(様式: 取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県 河川課
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、黒部市、入善町、朝日町の水位周知河川の水位観測所等11箇所(R4.3月末時点)において、河川監視カメラを設置し、カメラ画像をインターネットを通じて一般公開するもの。また、R4年3月にホームページをリニューアルし、**県管理の水位周知河川等の水位状況を地図及び一覧で見られる等、水防関係者にも的確な情報を得られるようにした。**

【実施概要】

- ・ 公開開始日:平成30年6月～
- ・ 公開の方法:画像情報(静止画:5分更新)と水位周知河川等の水位情報等をホームページで提供
- ・ 公開HP :「富山県河川海岸カメラ・水位情報」
(<http://kawa.pref.toyama.jp/camera>) 等



河川監視カメラ設置状況



外部公開サイト(富山県河川海岸カメラ・水位情報)

富山県河川海岸カメラ・水位情報						
全県 [新川土木] [入善土木] [富山土木] [立山土木] [富岡土木] [氷見土木] [小矢野土木] [砺波土木]						
新川土木 (魚津市、滑川市) 取組日時: 2022/03/18 10:20						
河川名	観測所名	現況水位	水防部 待機水位	氾濫注意 水位	避難開始 水位	氾濫危険 水位
鴨 川	鴨川	0.66m →	0.70 m	1.00 m	1.00m	1.20m
片貝川	東橋橋	0.34m →	1.00 m	1.50 m	2.30m	2.50m
早月川	月形橋	0.73m ↑	1.90 m	2.50 m	3.90m	4.90m
中 川	中川	0.11m →	0.50 m	0.70 m	0.70m	0.90m
沖田川	沖田山	0.14m →	0.50 m	0.70 m	0.70m	1.00m
舟 川	住島	欠測	1.10 m	1.40 m	1.80m	2.10m
舟橋川	田野	0.44m →	0.70 m	1.00 m	1.30m	1.80m
舟橋川	長町	0.37m →	0.80 m	1.50 m	2.30m	2.80m
片貝川	落合橋	0.50m →	1.50 m	1.90 m	2.40m	2.70m
入善土木 (朝日町、入善町、黒部市) 取組日時: 2022/03/18 10:20						
河川名	観測所名	現況水位	水防部 待機水位	氾濫注意 水位	避難開始 水位	氾濫危険 水位
黒部川	新出橋	0.17m ↓	1.00 m	1.30 m	1.50m	1.80m
米原川	太波橋	0.61m ↓	0.80 m	1.40 m	1.70m	2.10m
舟 川	字波橋	0.15m →	0.40 m	0.70 m	1.20m	1.60m
山合川	山橋	0.40m →	0.70 m	1.00 m	1.90m	2.30m
小 川	小山橋	0.63m →	1.00 m	1.45 m	2.80m	3.10m
吉田川	野島橋	0.21m →	1.00 m	1.30 m	1.30m	1.50m
黒部川	堤切橋	0.22m →	1.00 m	1.20 m	1.20m	1.40m
笹 川	笹川	0.27m →	0.70 m	1.00 m	1.80m	2.20m
堀 川	堀橋	1.16m ↓	1.30 m	1.50 m	2.00m	2.40m

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県 河川課
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		
実施場所	(対象: 市町村地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、市町村が開催する施設管理者向け講習会への講師派遣等により、避難確保計画の作成や避難訓練の実施を支援するもの。

【取組実績】

- ・ 令和元年度：南砺市、入善町、黒部市にて講習会
- ・ 令和2年度：魚津市にて講習会
- ・ 令和3年度：富山市にて講習会
- ・ 令和4年度：富山市にて講習会
- ・ 県内の要配慮者利用施設1617施設中1269施設（78.5%）で計画を作成済み（R4. 09. 30時点）



講習会の様子 R4 富山市

様式 2

4. 防災体制

【防災体制確立の支援物資及び物資品目】

物資品目の名称(品目)	単位	定数(単位)	注記(内容)
避難用飲料水	1人1日分		
避難用食糧	1人1日分		
避難用寝具	1人1泊分		

5. 避難訓練

(1) 避難訓練の種類(実施頻度)及び内容

(2) 避難訓練の実施状況(実施頻度)及び内容

実施頻度(実施回数)	実施状況(実施回数)	実施頻度(実施回数)	実施状況(実施回数)
1回以上	0回	1回以上	0回
2回以上	0回	2回以上	0回
3回以上	0回	3回以上	0回
4回以上	0回	4回以上	0回
5回以上	0回	5回以上	0回

記載例

4. 防災体制

【防災体制確立の支援物資及び物資品目】

物資品目の名称(品目)	単位	定数(単位)	注記(内容)
避難用飲料水	1人1日分		
避難用食糧	1人1日分		
避難用寝具	1人1泊分		

5. 避難訓練

(1) 避難訓練の種類(実施頻度)及び内容

(2) 避難訓練の実施状況(実施頻度)及び内容

実施頻度(実施回数)	実施状況(実施回数)	実施頻度(実施回数)	実施状況(実施回数)
1回以上	0回	1回以上	0回
2回以上	0回	2回以上	0回
3回以上	0回	3回以上	0回
4回以上	0回	4回以上	0回
5回以上	0回	5回以上	0回

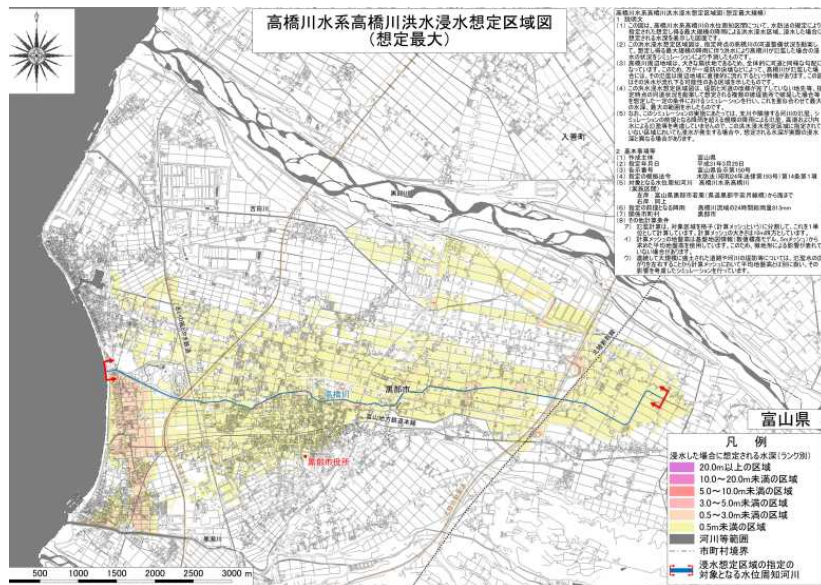
簡易な計画ひな型 (国交省)

(様式:取組事例)

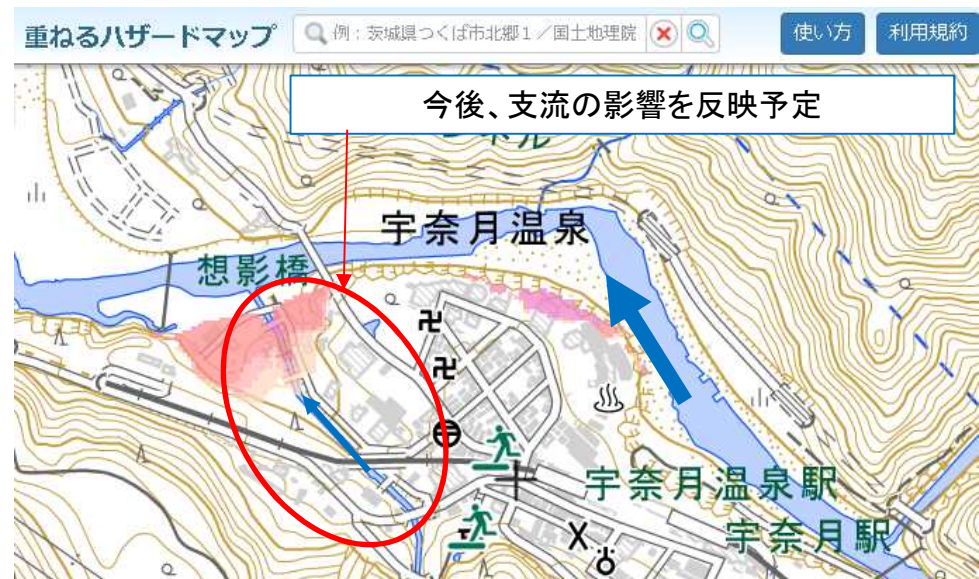
区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県 河川課
メニュー名	避難のためのハザード情報の整備		
事業・施策の名称	洪水浸水想定区域図の作成		
実施場所	黒部川支流の県管理河川		

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。黒部川支流の県管理河川についても、令和6年度末を目標に洪水浸水想定区域図を作成することを目標に取り組んでいます。

【取組実績】令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施



参考例:黒部市内を流れる高橋川(水位周知河川)
洪水浸水想定図(想定最大規模)



黒部川支流の河川(宇奈月温泉付近)

(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県 砂防課
メニュー名	砂防関係施設の整備		
事業・施策の名称	砂防関係事業		
実施場所	黒部川流域		

【対策概要】

土砂災害から暮らしを守る砂防関係施設を整備します。

砂防事業



- ・砂防堰堤
- ・床固工
- ・溪流保全工 等



地すべり対策事業



- ・集水井工
- ・横ボーリング工 等

急傾斜地崩壊対策事業



- ・法面工
- ・擁壁工 等

(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	新川農林振興センター
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	治山対策(復旧治山事業)		
実施場所	黒部市宇奈月町 舟見明日音沢 馬瀬ノ谷地区		

【対策概要】

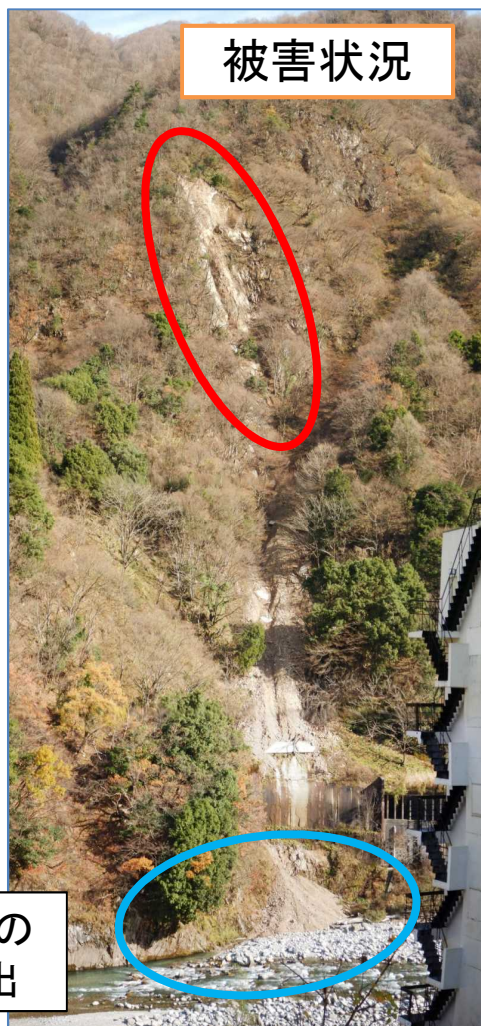
当地区は、令和2年7月の梅雨前線豪雨により山腹が崩壊し、土砂が黒部川へ流出した。

このため、山腹工事により山の崩壊斜面の拡大防止を図る。

【事業内容】

事業期間:令和3年度
～令和5年度

事業内容:山腹工0.6ha
(落石防止工、山腹緑化工)



被害状況

黒部川への土砂流出

整備状況 (R4.12末)



落石防止工
(補強土工)

山腹緑化工
(被覆工・吹付工)

(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山森林管理署
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	国有林野事業(森林整備・治山対策)		
実施場所	黒部川流域の国有林等		

【対策概要】

森林の有する水源涵養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図り、流域治水対策を推進します。
 このため、間伐等の森林整備を適時適切に実施するとともに、山地災害等により機能が低下した荒廃地・荒廃森林については機動的に治山対策を実施します。

黒部川流域内の国有林



(様式:取組事例)

区 分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山地方気象台
メニュー名	避難のための情報発信		
事業・施策の名称	防災気象情報の提供および解説		
実施場所・対象者	黒部川水系流域・住民		

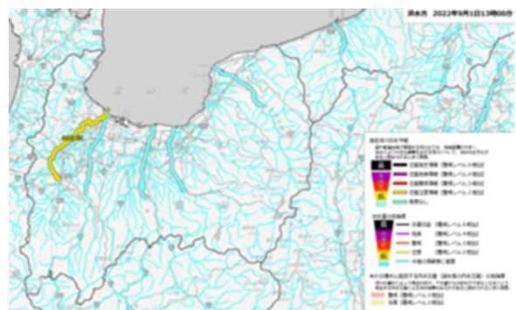
【対策概要】

令和4年出水期から、適切な避難判断につなげるため、防災気象情報の伝え方を改善した。

- ・線状降水帯による大雨の可能性を半日前から呼びかけ
- ・キキクル「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合
- ・大雨特別警報(浸水害)の指標の改善 等

災害発生の恐れが高まった時等に、気象状況等を適時に解説・助言等する気象庁防災対応支援チーム(JETT)を県に派遣した。防災訓練等を利用して避難判断に必要な防災気象情報の利用について一般住民に解説した。

令和4年度より、流域に着目した災害事例や雨量についての知見の蓄積を目的とした検証資料の作成に取り組んでいる。



洪水キキクル表示例



JETT派遣の様子



防災訓練ブース

(様式:取組事例)

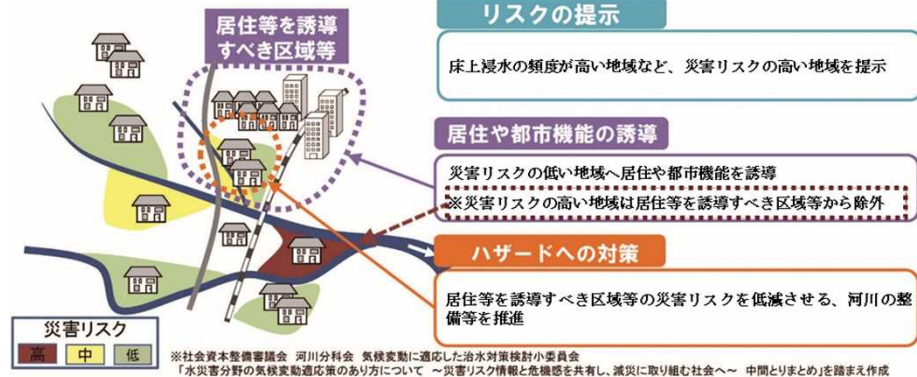
区分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	黒部市
メニュー名	立地適正化計画の見直し		
事業・施策の名称	防災指針の策定		
実施場所	(対象:黒部市都市計画区域内)		

立地適正化計画における防災指針の策定により、災害リスクの低い地域への居住や都市機能の誘導を推進する。

【取組実績】

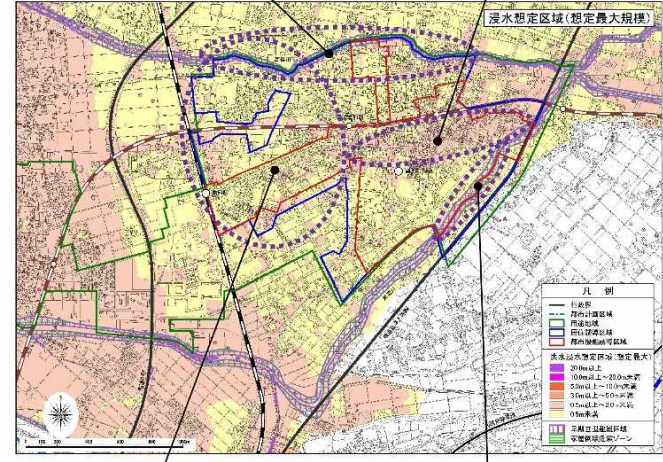
・令和4年度において、防災指針の策定に向けた災害リスク分析を実施。

防災指針の検討イメージ



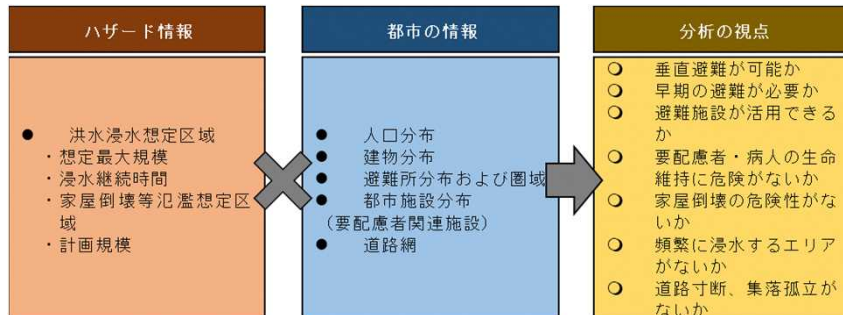
災害リスクの分析状況

- 災害リスク③**
 - ・家屋倒壊危険ゾーン(河岸浸食)が指定、かつ、要配慮者関連施設(高齢者福祉施設)が立地していることから、切迫した状況下等における迅速な避難が困難
- 災害リスク①**
 - ・中心市街地部に0.5m以上～3.0m未満の浸水想定区域があり、高齢者が多数居住することから、切迫した状況下等における迅速な避難が困難
 - ・1階建ての建築物が多数存在することから、緊急時の垂直避難も不可となる住民が発生する恐れ
 - ・災害発生時に活用できない避難所が生じる恐れ



- 災害リスク④**
 - ・避難所圏域500mの圏域外であり、避難所が近隣にないことから、切迫した状況下等における安全な避難が困難
- 災害リスク②**
 - ・家屋倒壊危険ゾーン(河岸浸食)が指定、かつ、要配慮者関連施設(病院・高齢者福祉施設)が立地していることから、切迫した状況下等における迅速な避難が困難

ハザード情報と都市の情報を重ね合わせ、防災・減災に向けた課題を抽出



(様式: 取組事例)

区 分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	黒部市
メニュー名	避難訓練への住民参加促進		
事業・施策の名称	新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営訓練		
実施場所	田家地区		

【対策概要】

令和2年度においてコロナ禍の影響により当初予定していた市総合防災訓練は中止としたが、このような状況下であるからこそ、「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営訓練」に組替え実施した。

大雨による土砂災害を想定し、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ見直しを図った「黒部市避難所運営マニュアル」に基づき、発災時における感染症対策を講じた避難所運営訓練を行った。



(様式:取組事例)

区 分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	入善町
メニュー名	水防災教室(出前講座の活用)		
事業・施策の名称	水防出前講座		
実施場所・対象者	町内の住民		

【対策概要】

職員を派遣し、ハザードマップの見方や使い方、水害に対する備え、避難行動要支援者の対応等に関する講座を実施している。



(様式: 取組事例)

区 分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	入善町
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成を促進		
実施場所	(対象: 入善町地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、当該施設の避難確保計画の作成を支援するもの。

【取組実績】

- ・令和4年度において、当該施設に対して避難確保計画の作成支援を実施。
- ・町内の要配慮者利用施設62施設中62施設(100%)で計画を作成済み(R4. 9. 30時点)



様式

4. 防災体制
連絡体制及び防災体制は、以下の通りとする。

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】

体制確立の判断時期	活動内容	対応要員
注意体制確立		
警戒体制確立		
非常体制確立		

表内の事項のほか、統括管理者の指揮命令に従うものとする。

記載例

4. 防災体制
連絡体制及び防災体制は、以下の通りとする。

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】

体制確立の判断時期	活動内容	対応要員
注意体制確立	洪水予報等の情報収集	情報収集伝達要員
警戒体制確立	洪水予報等の情報収集 使用する資器材の準備 保護者への事前連絡 周辺住民への事前協力依頼 要配慮者の避難誘導	情報収集伝達要員 避難誘導要員 情報収集伝達要員 避難誘導要員
非常体制確立	施設内全体の避難誘導	避難誘導要員


表内の事項のほか、統括管理者の指揮命令に従うものとする。

(様式: 取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	朝日町
メニュー名	出前講座・防災検定を活用した防災啓発		
事業・施策の名称	出前講座・防災検定を活用した防災啓発		
実施場所・対象者	朝日町		


【対策概要】

迫り来る災害において、被害軽減、また一人でも多くの命を救うことは「公助」としての使命であると考えられる。災害発生時には、個々の置かれる状況も千差万別であり、また町職員の人数も限られることから、「公助」だけでは限界がある。このことから、一人ひとりの「自助」、自主防災活動などの「共助」のもと、自らの命を守ってもらうことを前提に、地域一体となった防災力の推進・向上を図る。



笹川地区出前講座 R4.10.23

**自分の命も家族の命も自ら守る
「自助・共助の確立」**



情報の入手先


アプリ・メールでの情報収集

インターネットでの情報収集

朝日町防災情報アプリ
・朝日町緊急情報メール、
各種防災・気象サイトの入手

テレビ（データ放送）での情報収集

**災害に恐れず、勇気を持った防災行動に繋げる
「自助・共助の芽生え」**



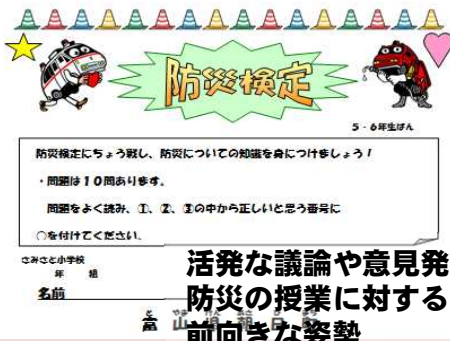
情報の入手先

アプリ・メールでの情報収集

インターネットでの情報収集

朝日町防災情報アプリ
・朝日町緊急情報メール、
各種防災・気象サイトの入手

テレビ（データ放送）での情報収集



防災検定

5 - 6年生用


防災検定にチャレンジし、防災についての知識を身につけよう！

・問題は10問あります。

問題をよく読み、①、②、③の中から正しいと思う番号に○を付けてください。

さみさと小学校
新 組
名前 _____

**活発な議論や意見発言
防災の授業に対する
前向きな姿勢**



さみさと小学校防災検定 R4.11.29

あなたは 令和4年の
ほうさいけんてい
防災検定にチャレンジし
おしき しょうとく
防災知識を習得されたこと
にんてい
を認定します

令和4年11月

検定終了後は認定証交付

マイ・タイムライン（風水害・土砂災害）

「いつ」「何をするのか」を整理した
個人・家族の防災計画作成に向けた取組

準備レベル	1	2	3	4	5
状況	今更には何もしていない	災害時の対応	避難場所の確認	避難経路の確認	避難物資の確認
基本対応行動	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。
避難者と避難	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。
復旧と復興	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。	家族全員が避難場所を確認し、避難経路を確認し、避難物資を確認し、避難物資を準備する。